



第195号

2022年1月14日発行

横浜

西だより

発行
(公社)神奈川労務安全衛生協会
横浜西支部 事務局
横浜市戸塚区吉田町631
元町清水ビル203号
TEL 045-864-5354
FAX 045-864-5022
編集
横浜西支部広報部会



新年のご挨拶



(公社)神奈川労務安全衛生協会 横浜西支部

支部長 大井川 久夫



2022年の新春を迎え、会員事業場の皆様に謹んでお喜び申し上げます。昨年支部事業運営に際しましては、横浜西労働基準監督署のご指導のもと、会員事業場の皆様からの多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2021年度の横浜西支部は、一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で諸行事の中止、講習会の開催延期・中止等、活動の制限を余儀なくされました。このような中、11月には神奈川労務安全衛生大会をコロナ感染予防対策に配慮したオンライン方式により開催することができました。関係各位のご尽力に心より感謝申し上げます。

令和3年の横浜西労働基準監督署管内の労働災害発生状況ですが、10月末時点で、休業4日以上之死傷災害発生件数が新型コロナウイルス感染症による113件を除いても544件と、前年同期比9.2%増と急増しております。この状況を受け、横浜西労働基準監督署のご指導のもと、転倒災害、墜落・転落災害の防止対策の徹底を各事業場様にお願いいたしました。

さて、本年は、「第13次労働災害防止計画」の最終年となります。安心して健康に働くことができる職場の実現に向け、2017年比で休業4日以上之死傷者数を5%以上減少させる等の目標を是非とも達成しなければなりません。

この目標に微力ながら貢献するべく、支部行事に参加される皆様の安全と健康確保を第一として、支部運営を進めてまいります。あわせて「支部会計の収支改善」と「会員事業者の拡大」にも鋭意取り組んでまいります。会員事業場の皆様におかれましては、支部運営への引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員事業場の皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

横浜西労働基準監督署

署長 荻野 憲一



新年あけましておめでとうございます。

平素、貴支部及び会員事業場の皆様には一方ならぬご厚情を賜り、心から御礼を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

一昨年の年明けから拡大を始めた新型コロナウイルス感染症は、たちまち世界中に広がり、甚大な被害をもたらしました。

わが国でも感染者数の増減を繰り返しながら推移してきましたが、昨年4月以降の増加に伴い神奈川県内においても「緊急事態宣言」が発出されるに至り、8月に過去最大のピークを記録する感染第5波が猛威を振るいました。

この間、当署においては、各種の説明会や会議等が前年同様に軒並み中止又は延期を余儀なくされ、現在も同感染症の労災請求にかかる保険給付等の対応に追われています。

現在、同宣言は解除され、何とか小康状態を保っていますが、新たな変異株が出現し、わが国にも感染拡大の波が到来することが懸念されております。

さて、当署管内の労働災害の発生状況に関して申し上げますと、同感染症に加え、墜落や感電等の死亡災害が多発するなど顕著な増加傾向が認められたことから、貴協会はじめ各災防団体様あてに災害防止にかかる緊急要請を行い、署長メッセージを発出させていただいたところです。

このように依然として厳しい状況が続いておりますが、当行政の最重要課題の一つである「働き方改革」を推進し、同感染症を含む労働災害の増加傾向に歯止めをかけるため、貴協会及び会員企業の皆様のお力をお借りしてこの苦境を乗り切っていきたいと考えております。

最後に、皆様方のご健康とご多幸、そしてコロナ禍の収束をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和3年度

神奈川労務安全衛生大会

令和3年度「神奈川労務安全衛生大会」は神奈川労働局・神奈川県・藤沢市のご支援のもと、新型コロナウイルス感染症拡大防止と参加者の皆さまの安全を最優先に考え、オンデマンド配信にて開催されました。

本大会は、適正な労働条件の確保、労働災害防止、健康保持増進等により労働福祉の向上と産業の健全な発展をはかる決意の場として行う協会最大の行事です。

今年度はオンデマンド配信による3部構成で進められました。

まず、第1部では冒頭に神奈川労務安全衛生協会 古米会長の開会挨拶にて、県内の休業4日以上の死傷者数が対前年比+24%の大幅増で目標達成が危ぶまれており、推進計画で示された墜落・転落や機械災害の防止、高齢者に配慮した職場環境改善等の重点課題を確実に実施していく必要があることを示されました。

本大会では、事業場の皆様が労務・安全・衛生の諸課題における対応を今一度振り返り、労働環境の変化や働き方の多様化に対応すべく、今後の挑戦を誓う場であり、各事業場の英知と総力を結集して安心して能力を存分に発揮し、そして時代の変化に対応した職場環境の実現を目指して力強く進んでいこう、とのご挨拶を戴きました。

その後、多くのご来賓の皆様メッセージを頂戴しました。神奈川労働局長 川口様・神奈川県産業労働局労働部長 田熊様・藤沢市長 鈴木様・中央労働災害防止協会理事長 竹越様より、ご祝辞とともに労務・安全・衛生におけるの取組みや課題等の御言葉を頂戴しました。

続いて、表彰として労務安全衛生功労賞に受賞された方々のご紹介がありました。労務安全衛生功労賞は事業場における労務管理、安全衛生活動の向上に多大な貢献をされた方々に贈られます。令和3年度は支部推薦47名と本部推薦4名の方々が受賞されました。

第2部では日本労働安全衛生コンサルタント会様より、「職場における受動喫煙を防止するために」をテーマとした講習と、マックス株式会社様より、「表示をみんなで考える安全活動の取組み」として、不安全な行動をしない



神奈川労務安全衛生協会 古米会長より開会挨拶



特別講演

人づくりを行う対策が紹介されました。

第3部の特別講演では、日本マネジメント総合研究所 合同会社 理事長の戸村様を講師にお招きして、「人工知能やデジタル化でどうなる？どうする？私たちの生き方働き方～DX（デジタル・トランスフォーメーション）が変える経営・労働・心身の安全対策～」について解説戴きました。進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活がより良いものへと変革し、どの様に安心・安全な社会へと発展していくのか、大変興味深いお話を伺うことが出来ました。

このように令和3年度の神奈川労務安全衛生大会は約3時間のオンデマンド配信でしたが、コロナ禍における有効な手段として多くの方々に視聴戴けたかと存じます。

(株)日産クリエイティブサービス 小野 祐人

受賞紹介

「令和3年度神奈川労務安全衛生大会」において、弊協会古米協会長より労務安全衛生功労賞を受賞しました。

誠にありがとうございます。

受賞者



田中 敏之氏
タカナシ乳業(株)



植竹 隆氏
BASF ジャパン(株)
戸塚工場



遠藤 大氏
(株)エスシー・マシーナリ
東京機械センター



監督署からの情報

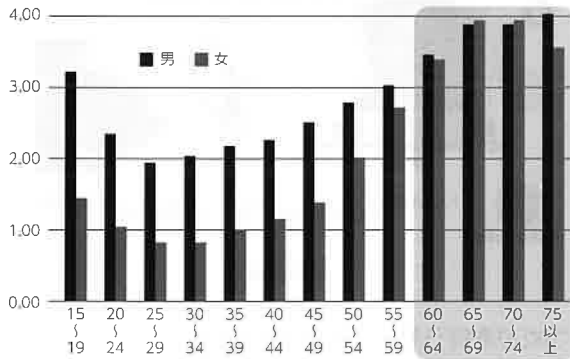
エイジフレンドリーガイドライン

厚生労働省では、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」を策定しております。

- 背景 ・働く高齢者が増加（60歳以上の雇用者数は過去10年間で1.5倍）
- ・労働災害のうち60歳以上の労働者が占める割合は1/4以上（2019年は27%）
- ・労働災害発生率は、若年層に比べ高齢層で高い。労働災害が続けば人手不足を招くおそれも…

年齢別・男女別の労働災害発生率

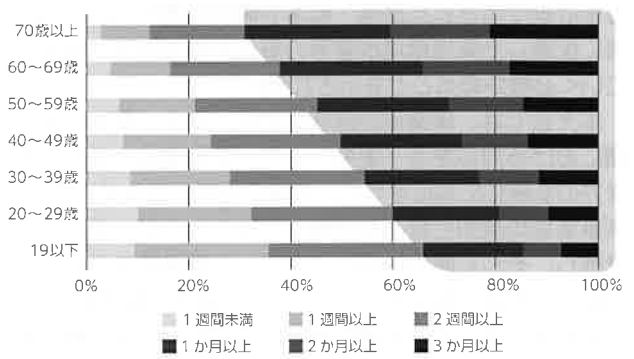
高齢者は被災しやすい！



※労働者1000人当たりの死傷災害(休業4日以上)の発生件数
出典：労働力調査、労働者死傷病報告(2019年)

年齢別の休業見込み期間の長さ

労働災害が重症化しやすい！



出典：労働者死傷病報告(2019年)

エイジフレンドリーガイドラインの内容（事業者に求められる事項）

高齢者の就労状況や業務の内容等の実情に応じ、実施可能な対策に取り組みましょう。

1.はじめに

- 企業の経営トップが取り組む方針を表明し、担当者や組織を指定します
- 高齢労働者の身体機能の低下等による労働災害発生リスクについて、災害事例やヒヤリハット事例から洗い出し、対策の優先順位を検討します
- 職場改善ツール「エイジアクション100」のチェックリストの活用も有効です



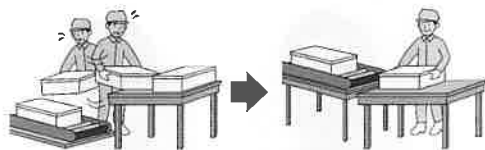
詳しくはこちら

2.職場環境の改善

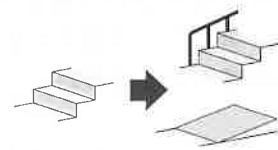
(1) 身体機能の低下を補う設備・装置の導入（主としてハード面の対策）

- 高齢者でも安全に働き続けることができるよう、施設、設備、装置等の改善を行います

対策の例



不自然な作業姿勢をなくすよう
作業台の高さや作業対象物の配置を改善する



階段には手すりを設け、
可能な限り通路の段差を解消する



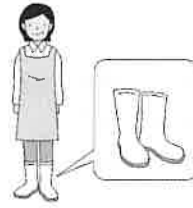
対策の例

例えば戸口に
段差がある時



解消できない危険個所に
標識等で注意喚起

- パワーアシストスーツ等を導入する
- 通路を含め作業場所の照度を確保する
- 床や通路の滑りやすい箇所に防滑素材（床材や階段用シート）を採用する



防滑靴を利用させる

- 涼しい休憩場所を整備し、通気性の良い服装を準備する
- 熱中症の初期症状を把握できるウェアラブルデバイス等のIoT機器を利用する 等



リフト、スライディングシート等を導入し、抱え上げ作業を抑制

(2) 高齢労働者の特性を考慮した作業管理（主としてソフト面の対策）

- 高齢労働者の特性を考慮し作業内容等を見直します。例えば、勤務形態や勤務時間を工夫して高齢者が就労しやすくすること（短時間勤務、隔日勤務等）や、ゆとりのある作業スピード、無理のない作業姿勢等への配慮などがあります



3. 高齢労働者の健康や体力の状況の把握

(1) 健康状況の把握

- 健康診断を確実に実施します
- 職場で行う法定の健診の対象にならない方については、例えば地域の健康診断等を受診しやすくするなど、働く高齢労働者が自らの健康状況を把握できるようにします



(2) 体力の状況の把握

- 主に高齢労働者を対象とした体力チェックを継続的に行うよう努めます
- 体力チェックの目的をわかりやすく丁寧に説明するとともに、事業場における方針を示し、運用の途中で適宜その方針を見直します

※注意点

安全作業に必要な体力の測定手法と評価基準は、安全衛生委員会等の審議を踏まえてルール化するようにします



詳しくはこちら

4. 高齢労働者の健康や体力の状況に応じた対応

(1) 個々の高齢労働者の基礎疾患の罹患状況等の健康や体力の状況を踏まえた措置を講じます

(2) 高齢労働者の状況に応じた業務の提供

- 健康や体力の状況は高齢になるほど個人差が拡大するため、個々の労働者の状況に合わせ、適合する業務をマッチングさせます



(3) 心身両面にわたる健康保持増進措置

- 例えばフレイルやロコモティブシンドロームの予防を意識した健康づくり活動を行います

5. 安全教育

- 高齢者対象の教育では、作業内容とリスクについて理解させるため、時間をかけ、写真や図、映像等の文字以外の情報も活用します
- 再雇用や再就職等により経験のない業種、業務に従事する場合、特に丁寧な教育訓練を行います



新春随想

横浜西労働基準監督署

第三方面主任監督官 田上 潤

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症により、様々な影響を受けた年となりました。一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

さて、私事ですが、昨年4月に息子が小学校に入学しました。入学後は、子どもだけで通学をすることになり、7歳までは交通事故の発生リスクが非常に高いという統計データがあります。そのため、私は息子に「危険感受性」を高めてもらうと、子ども向けの危険予測の本と一緒に読みました。

ただ、本を読むだけでは、危険予測を実生活に応用することは難しく、息子は交差点を渡る際に「車とぶつかる」という危険を予測せず、左右を十分に確認しないことがあったため、通学中に事故に遭わないよう、実際に息子と一緒に通学路を歩き、危険箇所を現地で特定して、危険を共有しました。

「危険箇所」を「危険と認識していない」ことは、非常に怖いことだと感じます。危険箇所を危険

と認識さえすれば、それに対して何か対策をとろう、注意しようと思えることができます。

この私と息子とのやりとりについてですが、これと同じことが産業安全の場にもあると感じております。それは、事業者の労働者に対する安全衛生教育です。特に経験年数の短い労働者（未熟練労働者）に対する安全衛生教育は非常に重要となっております。

労働災害の発生状況を分析すると、労働者全体の中で、経験3年未満の未熟練労働者の占める割合が多い状況で、経験年数の少ない未熟練労働者は、作業に慣れておらず、危険に対する感受性も低いことが要因となっております。

よって、事業者は未熟練労働者に対し、危険箇所を危険と認識させ、決められた作業手順を守るよう教育を行わなければなりません。

今後の安全衛生活動の推進の参考としていただければ幸いです。



ミドリ安全株式会社

横浜南支店

支店長 中山 雄介

〒245-0052 横浜市戸塚区秋葉町326番地湘南ビル1F
TEL 045-810-6235

森紙業株式会社

関東事業所

事業所長 大町 智応

〒244-0812 横浜市戸塚区柏尾町628番地
TEL 045-822-7000

山崎製パン株式会社

横浜第一工場

執行役員工場長 近藤 康之

〒244-8525 横浜市戸塚区上柏尾町15番地
TEL 045-822-0627

横浜ライト工業株式会社

代表取締役 浜口 伸一

〒240-0035 横浜市保土ヶ谷区今井町870
TEL 045-355-5500

2021～2022年度 横浜西支部主要行事予定

1. 2021年度

開催日(曜日)	内 容	募集人員	場 所	
1月	17日(月)	特定化学物質等作業主任者技能講習	鎌倉芸術館「集会室」	
	18日(火)			
	24日(月)	第1回職長能力向上教育(新規)	40名	万国橋会議センター
	25日(火)	第2回労務管理講習会	24名	建災防横浜西分会「会議室」
2月	28日(金)	第4回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習	24名	建災防横浜西分会「会議室」
	4日(金)	特定化学物質作業主任者能力向上教育	24名	建災防横浜西分会「会議室」
	8日(火)	産業保健研修会(中止)	24名	建災防横浜西分会「会議室」
	16日(水)	第2回KYT講習会	30名	鎌倉芸術館「会議室1」
3月	25日(金)	第5回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習	24名	建災防横浜西分会「会議室」
3月	14日(月)	第6回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習	24名	建災防横浜西分会「会議室」

2. 2022年度(案)

①主要行事 (【 】:中災防 < >:協会本部を示す)

開催日(曜日)	内 容
5月	19日(木) 支部通常総会(鎌倉芸術館)
	27日(金) <本部通常総会>
6月	6日(月) 全国安全週間横浜西地区推進大会 〔横浜市保土ヶ谷公会堂〕
9月	8日(木) 全国労働衛生週間横浜西地区推進大会 〔横浜市保土ヶ谷公会堂〕

開催日(曜日)	内 容
10月	19日(水) 【全国産業安全衛生大会】 〔福岡市〕
	20日(木)
	21日(金)
11月	18日(金) <神奈川労働安全衛生大会>
1月	6日(金) 安全祈願・賀詞交換会・経営者セミナー 〔鶴岡八幡宮・鶴ヶ岡会館〕

②講習会等

開催日(曜日)	内 容
4月	8日(金) 新入社員安全衛生教育
	22日(金) リスクアセスメント実務研修会
5月	30日(月) 第1回労務管理講習会
6月	3日(金) 第1回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習
	16日(木) 第1回職長教育〔2日間〕
	17日(金)
	27日(月) 第1回安全衛生推進者養成講習〔2日間〕
7月	28日(火)
	7日(木) 第1回KYT講習会
	15日(金) 有機溶剤作業主任者能力向上教育
22日(金) 第1回職長能力向上教育	
8月	2日(火) 第2回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習
	23日(火) 監督署届出手続き講習会
9月	16日(金) 化学物質のリスクアセスメント
	26日(月) 衛生管理者試験準備講習会〔2日間〕
	27日(火)

開催日(曜日)	内 容
10月	4日(火) 第2回職長教育〔2日間〕
	5日(水)
10月	25日(火) 第3回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習
	28日(金) 特定化学物質作業主任者能力向上教育
11月	7日(月) 第2回安全衛生推進者養成講習〔2日間〕
	8日(火)
	15日(火) 挟まれ巻き込まれ防止研修会
29日(火) 産業保健研修会	
12月	7日(水) 第2回労務管理講習会
1月	25日(水) 第4回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習
2月	3日(金) 第2回職長能力向上教育
	9日(木) 第2回KYT講習会
3月	14日(火) 第5回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習

研修会場：鎌倉芸術館「集会室」、「会議室1」
建災防横浜西分会「会議室」

※研修会は、講師都合及び会場の抽選結果等により日程を変更する場合があります。

新規会員募集

横浜西支部では、地域内(戸塚区、栄区、泉区、保土ヶ谷区、瀬谷区、旭区)にある事業場で、当協会に未加入の事業場等に対して加入促進活動を行っております。

近隣で又はお知り合いで未加入事業場がございましたら事務局まで是非ご紹介ください。

(事務局 TEL 045-864-5354 FAX 045-864-5022)



謹賀新年

本年もよろしくお願ひ致します。



順不同

ミドリ安全株式会社

横浜南支店

支店長 中山 雄介

〒245-0052 横浜市戸塚区秋葉町326番地湘南ビル1F
TEL 045-810-6235

横浜共立鋼業株式会社

代表取締役 野口 嘉春

〒245-0003 横浜市泉区岡津町2304-1
TEL 045-811-3420

株式会社日立製作所

システム&サービス人事総務本部

部長 渡部 伸也

〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町292番地
TEL 045-881-7161

山崎製パン株式会社

横浜第一工場

執行役員工場長 近藤 康之

〒244-8525 横浜市戸塚区上柏尾町15番地
TEL 045-822-0621

日本自働精機株式会社

代表取締役社長 田中 宏和

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町915番地
TEL 045-814-7850

住友電気工業株式会社

横浜製作所

製作所長 大井川 久夫

〒244-8588 横浜市栄区田谷町1番地
TEL 045-853-7182

株式会社パイオラックス

代表取締役社長 島津 幸彦

〒240-0023 横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地
TEL 045-731-1211

宝製菓株式会社

代表取締役 岩崎 智子

〒245-0065 横浜市戸塚区東俣野町1750
TEL 045-851-2001

～役員・事務局だより～

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私ども役員・事務局も新たな気持ちで2022年を元気で迎えることが出来ました。

昨年の支部運営での、講習会等はコロナ禍に伴い一部中止や参加数制限等で大変厳しい状況が続き、会員の皆様にはご迷惑をおかけしました。生活変容のなか10月からは何とか事業運営を再開することが出来ました。

横浜西労働基準監督署のご指導、会員事業場皆様のご理解、ご協力に対し厚く御礼申し上げます。

当支部では会員のニーズにあった事業の展開や会員皆様へのサービス向上に役員一同努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

(横浜西支部事務局長 飯島 輝夫)

～編集後記～

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染拡大に加え全国各地で記録的な大雨による土砂災害、河川の氾濫といった自然災害も発生しました。近年、台風や大雨による自然災害の発生をよく聞く様になりました。想像しているよりもずっと身近に自然災害が在るのかも知れません。備えを万全にしておきたいものです。

一方、一昨年開催延期となった東京オリンピック・パラリンピックが無観客で開催されました。日本選手の大健闘もあり金銀銅合わせて58個とオリンピック史上最多のメダルを獲得しました。パラリンピックは金銀銅合わせて51個と史上2番目に多いメダルを獲得しました。明るいニュースに元気を貰えたのではないのでしょうか。

本年が皆様と各事業場にとって良い年となりますようお祈り申し上げます。

(芝浦メカトロニクス株式会社 京屋 誠)